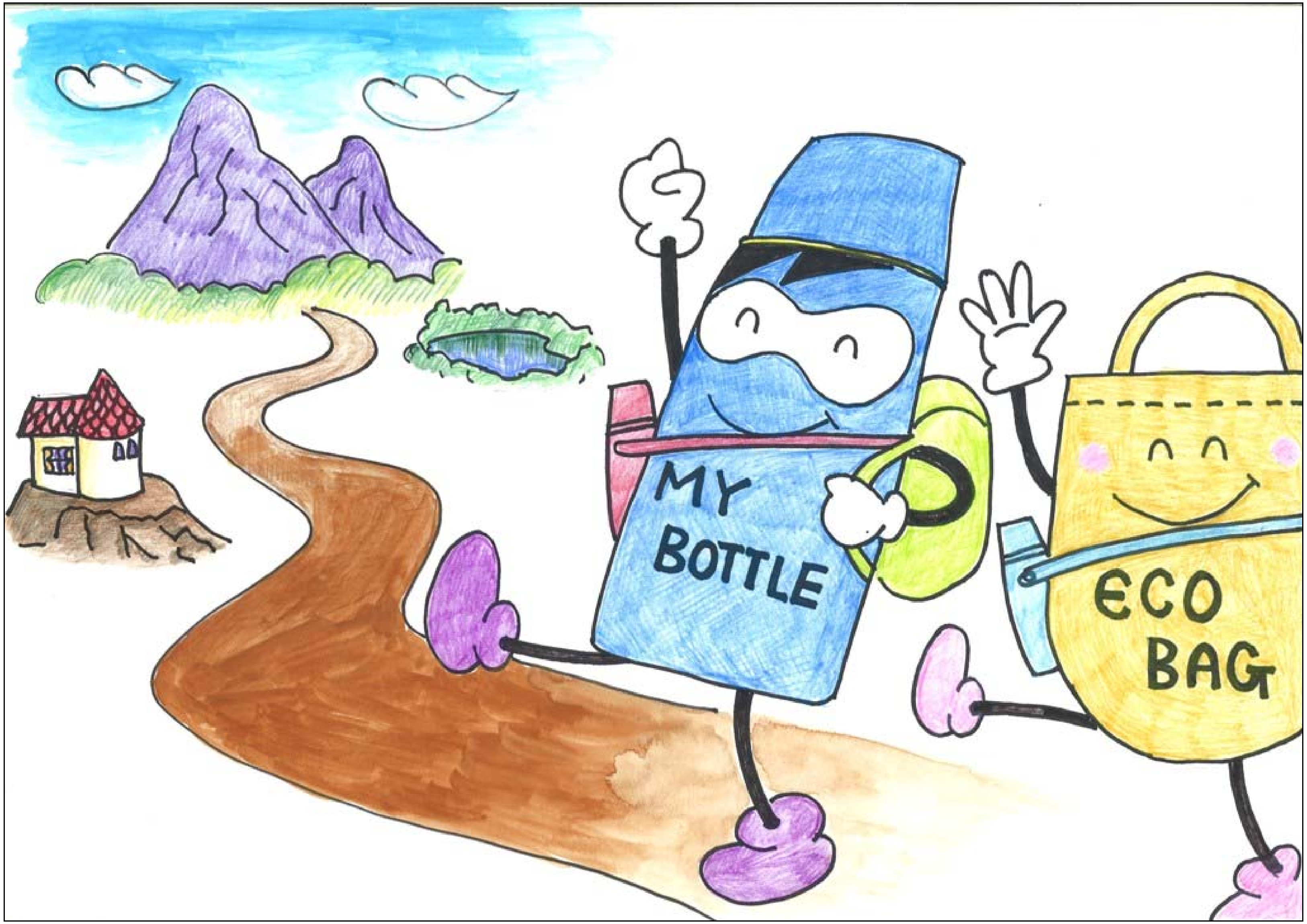
「どうしてごみがたくさん出るんだろう、
ごみがたくさん出て喜ぶのはハシブトだけだよね～。
なんとかしなくっちゃ」
みんなでごみを出さない工夫を見つけてみよう。

エコバッグちゃんは買い物に行くとき、
いつもエコバッグを持って行きます。
買ったものをエコバッグにどんどん詰めています。
（エコバッグちゃん）「エコバッグってけっこう入るね」

家に帰り、冷蔵庫に買ってきたものを入れます。
エコバッグは何回も使えてお店の袋はいりません。
お店の袋は持って帰るとごみになります。



今日は良いお天気、マイボトル君とエコバッグちゃんは
ピクニックに出かけることにしました。
（マイボトル君）「天気が良いので、エコ分け山までいくぞ！」
出かける時はいつも水筒を持って行きます。

途中、水のみ場で水筒のお水をいっぱいにしました。
ハシブトは水筒を持っていきませんでした。
自動販売機のジュースを買っています。
飲み終わった後、荷物になるので捨ててしまいました。

（ハシブト）「ああ～のどが渇いた～」のどが渇いても、お水を飲むことができません。
（エコバッグちゃん）「もしよかったら、私のお水を飲んで」
（ハシブト）「今度は水筒を持っていくことにするよ」

最近、ハシブトには悩み事があります。
町から生ごみが少なくなり、ご馳走にありつけなくなっています。
（ハシブト）「何でご馳走が少なくなったのかな」

（収集のオジさん）
「町のみんなが生ごみをリサイクルしているんだよ、生ごみから肥料を作って
野菜を育てているんだ。ハシブトも、自分で食べ物を作ってみたら」
（ハシブト）「なるほど」

ハシブトは、生ごみを肥料にして、せっせと畑を耕しました。
（ハシブト）「うんとこしょ！どっこいしょ！食べ物のためなら、うんとこしょ！」

（収集のオジさん）
「でも、ハシブトってお肉が大好きなんだよね」
（ハシブト）
「野菜は健康にいいんだよ、ごみも減るし、体にもヘルシーなんちゃって・・・」

エコバッグちゃんやマイボトル君、そしてハシブトや町中のみんながかんばりました。
町から、ごみが少なくなり、収集のオジさんも大助かり
（収集のオジさん）「ごみの処理で悩むことがなくなります」
「町のみんなどうもありがとう」めでたし・めでたし